

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |                      |        |             |                |    |
|------|----------------------|--------|-------------|----------------|----|
| 授業形態 | 演習                   | 科目名    | 未来デザインプログラム |                |    |
| 必修選択 | 選択                   | (学則表記) | 未来デザインプログラム |                |    |
| 開講   |                      |        |             |                |    |
| 年次   | 1年                   | 学科     | 診療情報管理士科    | 単位数            | 1  |
| 時間数  |                      |        |             |                | 30 |
| 使用教材 | 7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック |        | 出版社         | (株)FCEエデュケーション |    |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |  |  |  |
|--------|--|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する |      |  |  |  |
| 到達目標   | 「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する<br>他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる                          |      |  |  |  |
| 評価基準   | 小テスト／レポート20%、授業態度40%、提出物40%  |      |  |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者  |      |  |  |  |
| 関連資格   |  |      |  |  |  |
| 関連科目   | 業界理解Ⅰ  |      |  |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する   |      |  |  |  |
| 担当教員   | 小林 茂恵  | 実務経験 |  |  |  |
| 実務内容   |  |      |  |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元               | 内容  |
|----|------------------|---|
| 1  | 専門学校へようこそ！       | 未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える             |
| 2  | 自分制限パラダイムを解除しよう！ | 自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える               |
| 3  | 自信貯金箱            | 自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ                            |
| 4  | 刺激と反応            | 刺激と反応の考え方を理解し、どの様な状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える       |
| 5  | 言霊～ことだま～         | 言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ                             |
| 6  | 影響の輪             | 集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ |
| 7  | 選んだ道と選ばなかった道     | 自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ                |
| 8  | 割れた窓の理論          | 規則を守る大切さ、重要性を理解する   |

|    |                  |  |
|----|------------------|--|
| 9  | 人生のビジョン          | 10年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える                        |
| 10 | 自分の価値観を知る        | なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ     |
| 11 | 大切なことは？          | なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ |
| 12 | 一番大切なことを優先する     | スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ                            |
| 13 | 時間管理のマトリクス       | 第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ                                |
| 14 | 私的成功の振り返り        | 主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）   |
| 15 | リーダーシップを発揮する     | リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ                                     |
| 16 | 信頼貯金箱            | 信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ                                      |
| 17 | Win-Winを考える      | お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ  |
| 18 | 豊かさマインド          | 人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ  |
| 19 | 理解してから理解される      | 人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ                               |
| 20 | 相乗効果を発揮する        | 多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ   |
| 21 | 自分を磨く            | 自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える  |
| 22 | 未来は大きく変えられる      | 人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ  |
| 23 | 人生ビジョンを見直そう      | 自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える                                 |
| 24 | 未来マップを作ろう①       | 未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく          |
| 25 | 未来マップを作ろう②       | 未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする  |
| 26 | 感謝の心             | 人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える   |
| 27 | 7つの習慣授業の復習       | 7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する                                |
| 28 | 未来デザインプログラムの振り返り | 7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）                                 |
| 29 | 2年生に向けて①         | 1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える  |
| 30 | 2年生に向けて②         | 1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える  |

| 科目の基礎情報①                 |   |  |          |                    |     |
|--------------------------|---|--|----------|--------------------|-----|
| 授業形態                     | 演習  | 科目名  | 業界理解Ⅰ    |                    |     |
| 必修選択                     | 選択  | (学則表記)                                       | 業界理解Ⅰ    |                    |     |
| 開講                       |   |  |          | 単位数                | 時間数 |
| 年次                       | 1年  | 学科   | 診療情報管理士科 | 1                  | 30  |
| 使用教材                     | TAKEOFF<br>ジョブカード   |  | 出版社      | 三幸学園 (株)近藤プランニングス) |     |
| 科目の基礎情報②                 |   |  |          |                    |     |
| 授業のねらい                   | 就職活動に向けて準備や働くことに対する意識を醸成する<br>現場をイメージできる実習にむけて準備をする   |  |          |                    |     |
| 到達目標                     | 実習をやり多いものにするための準備(業界理解)が出来ている<br>実習後には自身の課題も発見し、今後の取り組みが明確化し行える。<br>就職活動がすぐに出来る状態(身だしなみ・履歴書・面接・意欲等)が身についている |  |          |                    |     |
| 評価基準                     | 授業態度20%、課題40%、提出物40%  |  |          |                    |     |
| 認定条件                     | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者   |  |          |                    |     |
| 関連資格                     |   |  |          |                    |     |
| 関連科目                     | 診療情報管理基礎/医事業務実践ベーシックⅠA/医事業務実践ベーシックⅠB/ペン字  |  |          |                    |     |
| 備考                       | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。   |  |          |                    |     |
| 担当教員                     | 南雲 沙綾   | 実務経験   |          |                    |     |
| 実務内容                     |   |  |          |                    |     |
| 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります |   |  |          |                    |     |
| 各回の展開                    |   |  |          |                    |     |
| 回数                       | 単元  | 内容   |          |                    |     |
| 1                        | オリエンテーション   | 業界理解の授業の位置づけ<br>実習→就職→認定試験までの基本的な流れ・目標設定     |          |                    |     |
| 2                        | 仕事について  | 「働く」ということについて 契約形態の違い・特徴                     |          |                    |     |
| 3                        | 業界(医療機関)研究①   | 医療の仕事とは、医療の大切さとは                             |          |                    |     |
| 4                        | 業界(医療機関)研究②   | 医療事務員の仕事とは                                   |          |                    |     |
| 5                        | 業界(医療機関)研究③   | 診療情報管理士の仕事とは(診療情報管理基礎との連携)                   |          |                    |     |
| 6                        | 医療機関見学①   | 医療機関見学の概要と目的を理解する<br>見学の準備(見るべきポイント・見学概要の把握) |          |                    |     |
| 7                        | 医療機関見学②   | 医療機関見学の概要と目的を理解する<br>見学の準備(見学する医療機関の把握)      |          |                    |     |
| 8                        | 医療機関見学③   | 医療機関見学の概要と目的を理解する<br>見学の準備(質問事項・確認事項の検討)     |          |                    |     |

|    |                       |  |
|----|-----------------------|--|
| 9  | 医療機関見学④               | 医療機関見学の自己紹介書を作成<br>ペン字と連携                      |
| 10 | 医療機関見学⑤               | 医療機関見学の概要と目的を理解する<br>実習への準備（メモの取り方・見学するときのマナー） |
| 11 | 医療機関見学⑥               | 見学への心構えと準備・基礎的知識の確認<br>診療情報管理士基礎・実践との連携        |
| 12 | 医療機関見学⑦               | 見学後の対応について確認をする（お礼状の書き方）                       |
| 13 | 医療機関見学⑧               | 実習直前の最終確認                                      |
| 14 | 見学振り返り                | 見学の振り返りと、診療情報管理士の仕事の理解と定着                      |
| 15 | まとめ                   | 振り返り・目標の途中経過の確認                                |
| 16 | 研究発表の準備①              | 学術大会・医療秘書学会に向けて研究発表の進め方、スケジュール、今後の流れを伝える       |
| 17 | 研究発表の準備②              | 研究発表の向けて、自分達が興味のあることをプリントを使って考える               |
| 18 | 実習に向けて                | 実習先報告書の書き方・提出方法について                            |
| 19 | 研究発表の準備③              | 研究発表のグループ分け発表・グループにてテーマを決定する                   |
| 20 | 研究発表の準備④              | グループに分かれて準備 仮説・実験方法についてグループワーク                 |
| 21 | 研究発表の準備⑤              | 発表の仕方・構成の仕方を伝える その後、グループで各自の発表の仕方をグループワーク      |
| 22 | 実習・就職に向けて①<br>履歴書の書き方 | 次年度の実習に向けて履歴書の作成方法を伝え、ペン字の授業と連携し見本を作成する        |
| 23 | 研究発表の準備⑥              | 中間発表に向けてパソコン教室で準備                              |
| 24 | 研究発表の準備⑦              | 中間発表に向けて、パワーポイント作成・発表原稿作成                      |
| 25 | 研究発表の準備⑧              | 中間発表に向けて最終準備                                   |
| 26 | 研究発表の準備⑨              | 10月より準備したものの中間発表を実施                            |
| 27 | 実習・就職に向けて②<br>自己分析    | 自分史を作成する ①エピソードを思い出す                           |
| 28 | 実習・就職に向けて③<br>ジョブカード  | 長所・短所について考える                                   |
| 29 | 実習・就職に向けて④<br>面接      | 面接の種類・実施方法について考える                              |
| 30 | まとめ                   | 振り返り・2年次の目標設定                                  |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |            |     |   |
|------|---|--------|------------|-----|---|
| 授業形態 | 講義  | 科目名    | 看護学（解剖・生理） |     |   |
| 必修選択 | 選択  | （学則表記） | 看護学（解剖・生理） |     |   |
| 開講   |   |        | 単位数        | 時間数 |   |
| 年次   | 1年  | 学科     | 診療情報管理士科   | 3   | 90  |
| 使用教材 | ①看護学入門 1 人体のしくみと働き<br>②新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語<br>③パッとひける医学略語・看護略語<br>④医療秘書技能検定実問題集 3級①<br>⑤医療秘書技能検定実問題集 3級②<br>⑥書いて覚える解剖生理ワークブック |        |            | 出版社 | ①メヂカルフレンド社<br>②建帛社<br>③照林社<br>④⑤つちや書店<br>⑥照林社 |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |   |
|--------|--|------|---|
| 授業のねらい | 医学の基本である解剖学・生理学の基礎知識を理解する  |      |   |
| 到達目標   | 医療機関で活かせる医学の基礎知識を理解し、必要に応じて説明できる   |      |   |
| 評価基準   | 小テスト40%、テスト40%、授業態度20%   |      |   |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者  |      |   |
| 関連資格   | 医療秘書技能検定   |      |   |
| 関連科目   | 看護学（医療用語）/疾患学/医事業務実践ベーシック I C  |      |   |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。  |      |   |
| 担当教員   | 石井 啓美  | 実務経験 | ○ |
| 実務内容   | 独立行政法人国立病院機構相模原病院/看護師/6年<br>相模原協同病院/看護師/1年8ヶ月<br>イーピーエス株式会社/臨床開発治験モニター/2年8ヶ月<br>企業内健康管理室、私立高校、保健所/派遣看護師/3年 |      |   |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                      | 内容   |
|----|-------------------------|--|
| 1  | 第1章 総論                  | これから学ぶ解剖学・生理学とはどういうものか知る<br>人体各部の体位を示す用語について |
| 2  | 第2章 人体の構成<br>第3章 人体の器官系 | 人体を構成する基本単位である細胞・組織・器官について                   |
| 3  | 第4章 運動系器①               | 全身を構成する骨の形状や構造について                           |
| 4  | 第4章 運動系器②               | 骨に附着して動く筋肉の解剖と生理について                         |
| 5  | 第6章 循環系器①               | 心臓の構造、機能などを学ぶ                                |

|    |                      |  |
|----|----------------------|--|
| 6  | 第6章 循環器系②            | 血管の種類と構造、および血液の循環について                    |
| 7  | 第7章 呼吸器系             | 気道の位置や構造、肺の機能について                        |
| 8  | 第6章・第7章のまとめ          | 循環器系・呼吸器系のテストを実施                         |
| 9  | 第5章 体液               | 体液の組成、血液の成分などについて                        |
| 10 | 第8章 消化器系①            | 各消化器官の位置や構造、機能について                       |
| 11 | 第8章 消化器系②            | 消化と吸収がどのようなメカニズムで行われるか学ぶ                 |
| 12 | 第10章 泌尿器系①           | 腎臓の構造と機能や尿路について理解し、尿の生成と排尿のメカニズムについて（基礎） |
| 13 | 第12章 内分泌系            | 内分泌腺の構造と機能について                           |
| 14 | 期末テスト                | 期末テストの実施                                 |
| 15 | 総まとめ                 | テストの振り返りと総まとめ                            |
| 16 | 前期の振り返り<br>第13章 神経系① | 前期の内容を復習する<br>神経系の基本を学ぶ                  |
| 17 | 第14章 感覚器系①           | 感覚器の構造、機能の基礎を学ぶ                          |
| 18 | 検定対策                 | 過去問題を解き、検定問題の傾向と対策について                   |
| 19 | 検定対策                 | 過去問題を解き、検定問題の傾向と対策について                   |
| 20 | 検定対策                 | 過去問題を解き、検定問題の傾向と対策について                   |
| 21 | 検定振り返り               | 実施された検定の振り返り                             |
| 22 | 第8章 消化器系③            | エネルギーの代謝がどのようなメカニズムか学ぶ                   |
| 23 | 第10章 泌尿器系②           | 腎臓の構造と機能や尿路について理解し、尿の生成と排尿のメカニズムについて（応用） |
| 24 | 第13章 神経系②            | 中枢神経・末梢神経・自律神経の構造と機能について                 |
| 25 | 第14章 感覚器系②           | ヒトの感覚である特殊感覚（味覚・嗅覚）について                  |
| 26 | 第14章 感覚器系③           | ヒトの感覚である特殊感覚（聴覚・視覚）について                  |
| 27 | 第11章 生殖器系            | 生殖器の構造と機能について                            |
| 28 | まとめ                  | 内科呼吸器疾患・消化器系疾患まとめ                        |
| 29 | 期末テスト                | 期末テストの実施                                 |
| 30 | 総まとめ                 | テストの振り返り、総まとめ                            |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |          |     |     |     |
|------|---|--------|----------|-----|-----|-----|
| 授業形態 | 講義  | 科目名    | 疾患学      |     |     |     |
| 必修選択 | 選択  | (学則表記) | 疾患学      |     |     |     |
| 開講   |   |        |          |     | 単位数 | 時間数 |
| 年次   | 1年  | 学科     | 診療情報管理士科 | 2   | 30  |     |
| 使用教材 | 新医療秘書医学シリーズ③ 臨床医学Ⅰ内科<br>新医療秘書医学シリーズ④ 臨床医学Ⅱ外科<br>新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学 |        |          | 出版社 | 建帛社 |     |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |   |  |  |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 学んだ人体のしくみを基礎に、疾病の成り立ちや診断（検査）、治療法を内科・外科の両面より習得する  |      |   |  |  |
| 到達目標   | 現場でよく使われている医療用語を説明することが出来る   |      |   |  |  |
| 評価基準   | 小テスト40%、テスト40%、授業態度20%   |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者  |      |   |  |  |
| 関連資格   | 医療秘書技能検定   |      |   |  |  |
| 関連科目   | 看護学（解剖・生理）/看護学（医療用語）/医事業務実践ベーシックⅠC   |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。  |      |   |  |  |
| 担当教員   | 石井 啓美  | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | 独立行政法人国立病院機構相模原病院/看護師/6年<br>相模原協同病院/看護師/1年8ヶ月<br>イーピーエス株式会社/臨床開発治験モニター/2年8ヶ月<br>企業内健康管理室、私立高校、保健所/派遣看護師/3年 |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                 | 内容   |
|----|--------------------|--|
| 1  | はじめに<br>1. 内科・外科とは | 学習の目的・目標・進め方の説明<br>内科的治療（p1）と外科で扱う疾病（p2）の特徴について                  |
| 2  | 検定対策               | 医療秘書技能検定に向けての対策  |
| 3  |                    |  |
| 4  |                    |  |
| 5  |                    |  |
| 6  | 2. 呼吸器疾患           | 主な疾患<br>呼吸器感染症、インフルエンザ、肺炎、結核など<br>肺疾患、気管支喘息、気管支拡張症、慢性閉塞性肺疾患、肺癌など |
| 7  |                    | その他、肺線維症、気胸など  |

|    |                |   |
|----|----------------|---|
| 8  | 3. 循環器疾患       | 主な疾患  |
| 9  |                | 高血圧症、虚血性心疾患 - 狭心症、心筋梗塞<br>先天性心疾患、心不全、不整脈、弁膜症<br>動脈硬化症（閉塞性動脈硬化症）、下肢静脈瘤 |
| 10 | 4. 消化器疾患       | 主な疾患  |
| 11 |                | 口腔疾患<br>食道疾患、逆流性食道炎、食道静脈瘤、食道癌<br>胃・十二指腸疾患、急性・慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃癌         |
| 12 |                | 肝疾患、肝炎、肝硬変、肝癌<br>胆道疾患、胆石症、胆嚢癌・胆管癌                                     |
| 13 |                | 膵疾患、急性・慢性膵炎、膵臓癌<br>腸疾患、下痢、便秘、炎症性腸疾患、大腸癌、虫垂炎など                         |
| 14 | 期末テスト          | 期末テスト   |
| 15 | 5. 血液疾患<br>まとめ | 主な疾患/貧血、白血病、血液凝固異常<br>授業のまとめ  |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |                                      |        |           |            |  |
|------|--------------------------------------|--------|-----------|------------|--|
| 授業形態 | 講義                                   | 科目名    | 看護学（医療用語） |            |  |
| 必修選択 | 選択                                   | （学則表記） | 看護学（医療用語） |            |  |
|      |                                      | 開講     | 単位数       | 時間数        |  |
| 年次   | 1年                                   | 学科     | 1         | 15         |  |
| 使用教材 | 新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語<br>パッとひける医学略語・看護略語 |        | 出版社       | 建帛社<br>照林社 |  |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |  |   |  |
|--------|--|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 病院で働く者が知っておくべき医療用語や略語とその意味を正しく理解し、医療従事者として医師、看護師、その他のスタッフと円滑にコミュニケーションをとりながら業務を行うための知識を身につける |      |  |   |  |
| 到達目標   | 医療用語に関する説明を読み、それがどの用語（日本語）に関する説明なのか判断できる<br>また、重要な医療用語（日本語）について、それがどのようなものであるかを説明できる         |      |  |   |  |
| 評価基準   | 提出物60%、単元テスト40%  |      |  |   |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者  |      |  |   |  |
| 関連資格   | 診療情報管理士  |      |  |   |  |
| 関連科目   | 看護学（解剖・生理）/疾患学/医事業務実践ベーシックⅠC   |      |  |   |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業にて実施する。  |      |  |   |  |
| 担当教員   | 原田 唯   | 実務経験 |  | ○ |  |
| 実務内容   | 横浜市立大学附属市民総合医療センター/看護師/3年<br>東戸塚記念病院/看護師/1年<br>戸塚共立第一病院/看護師/1年<br>川崎中央クリニック/看護師/8年           |      |  |   |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                           | 内容                              |
|----|------------------------------|---------------------------------|
| 1  | 1. 病院・診療機関に関する用語<br>2. 人体の名称 | 眼科～レントゲン室、顎～腰部の各用語              |
| 2  | 3. 薬に関する用語                   | アンプル～輸血の各用語                     |
| 3  | 4. 診療科別用語①                   | 各診療科にまたがる用語<br>（悪液質～レシピエントの各用語） |
| 4  | 5. 診療科別用語②                   | 循環器科の用語<br>（右心室～ペースメーカーの各用語）    |
| 5  | 6. 診療科別用語③                   | 呼吸器科の用語<br>（咽頭～人工呼吸の各用語）        |
| 6  | 7. 診療科別用語④                   | 消化器科の用語<br>（胃～腹腔ドレナージの各用語）      |
| 7  | 8. 診療科別用語⑤                   | 泌尿器科の用語<br>（陰茎～尿道留置カテーテルの各用語）   |
| 8  | 9. 診療科別用語⑥                   | 血液科の用語<br>（幹細胞～全血輸血の各用語）        |

|    |                             |   |
|----|-----------------------------|---|
| 9  | 10. 診療科別用語⑦                 | 代謝・内分泌科の用語、アレルギー科・膠原病科の用語<br>(下垂体～自己注射、胸腺～ループス腎炎の各用語)   |
| 10 | 11. 診療科別用語⑧                 | 脳神経科(精神科含む)の用語、産婦人科の用語<br>(延髄～パーキンソン病、会陰～非配偶者間人工授精の各用語) |
| 11 | 12. 診療科別用語⑨                 | 整形外科の用語<br>(黄色骨髄～ギプスの各用語)                               |
| 12 | 13. 診療科別用語⑩                 | 感覚器系の用語<br>(外耳～電気焼灼の各用語)                                |
| 13 | 14. 診療科別用語⑪<br>15. 検査に関する用語 | 感染症科の用語(易感染性～ワクチンの各用語)<br>検体～硫酸バリウムの各用語                 |
| 14 | 単元テスト                       | 学習内容全体に関するテストを行い、再度知識の定着を図る                             |
| 15 | 総まとめ                        | これまでのまとめ  |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |          |                                 |     |
|------|---|--------|----------|---------------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義  | 科目名    | 医療秘書概論   |                                 |     |
| 必修選択 | 選択  | (学則表記) | 医療秘書概論   |                                 |     |
| 開講   |   |        |          | 単位数                             | 時間数 |
| 年次   | 1年  | 学科     | 診療情報管理士科 | 2                               | 60  |
| 使用教材 | 医療事務テキストⅠ<br>診療点数早見表<br>医療概論<br>医療秘書検定問題集 3級①②<br>検定過去問題集<br>窓口事務必携ハンドブック |        | 出版社      | ユアサポート<br>医学通信社<br>建帛社<br>つちや書店 |     |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |  |   |  |
|--------|---|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 病院実習に役立ち、就職後には即戦力となる医療事務の知識の習得をする   |      |  |   |  |
| 到達目標   | 医療事務員として必要な法律や公費の知識を説明することができる<br>医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級（以下MS検定と表記する）に合格することができる |      |  |   |  |
| 評価基準   | 評価テスト50%、授業態度30%、小テスト20%  |      |  |   |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者   |      |  |   |  |
| 関連資格   | 医療事務検定1級/医療秘書検定3級   |      |  |   |  |
| 関連科目   | 医科医療事務ⅠA/医科医療事務ⅠB/医事業務実践ベーシックⅠA/医事業務実践ベーシックⅠB                                     |      |  |   |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。   |      |  |   |  |
| 担当教員   | 柴田 住予   | 実務経験 |  | ○ |  |
| 実務内容   | 昭和大学横浜北部病院/初診、外来受付/1年<br>神奈川脳神経外科クリニック/受付/1年                                      |      |  |   |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元       | 内容   |
|----|----------|--|
| 1  | 医療秘書概論とは | MS検定に向けて 医療保険の概要                           |
| 2  | 健康保険法    | 医療保険の概要<br>医療の仕組み、医療保険の種類、給付割合と患者負担割合      |
| 3  | 健康保険法    | 医療保険の給付<br>健康保険法の目的、医保の給付、保険診療の範囲、保険外併用療養費 |
| 4  | 健康保険法    | 医療保険の給付<br>高額療養費、その他の現金給付                  |
| 5  | 医学と医療    | 医学と医療の歴史の違い、医療秘書が把握すべきもの                   |
| 6  | 医療の実際    | 病気の定義と分類・病気の原因・診断・治療、プライマリケア・DPCによる疾病分類法   |

|    |            |   |
|----|------------|---|
| 7  | 医療法・医師法    | 医療法と医療提供施設、医療提供施設の適宜と分類                       |
| 8  | 病院管理       | 日本の医療   |
| 9  | 病院管理       | 医療界の現状、今後の展開                                  |
| 10 | 医療関係者と法律   | 医師・歯科医師                                       |
| 11 | 医療関係者と法律   | その他の医療関係者                                     |
| 12 | 労災・自賠      | 制度の目的・しくみ給付内容等                                |
| 13 | 関連法規       | 療養担当規則  |
| 14 | 前期まとめ      | 前期まとめ   |
| 15 | まとめ        | これまでのまとめ                                      |
| 16 | 医療秘書の現状・役割 | 前期復習<br>医療秘書の現状と将来・役割と業務                      |
| 17 | 医療秘書の実務    | 医療機関が求める人材、守秘義務、人間関係とコミュニケーション、各部門業務          |
| 18 | 実習前対策      | 医療秘書実務・医療とICT                                 |
| 19 | MS検定3級対策   | MS検定問題集①、②                                    |
| 20 | MS検定3級対策   |   |
| 21 | MS検定3級対策   |   |
| 22 | 医療事務検定1級対策 | 医療事務検定過去問題集                                   |
| 23 | 医療事務検定1級対策 |   |
| 24 | 公費負担医療     | 公費負担医療の概要<br>生保・原爆・感染症（結核）・児童福祉・難病・精神・各自治体の公費 |
| 25 | 公費負担医療     |   |
| 26 | 公費負担医療     |   |
| 27 | 死と医療       | ターミナルケア、末期患者の問題とニーズ、緩和ケアと尊厳死                  |
| 28 | 現代医療の課題    | 膨張する国民医療費、介護保険法の成立、現代医療の課題                    |
| 29 | 後期まとめ      | 後期まとめ   |
| 30 | まとめ        | これまでのまとめ                                      |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |          |     |                  |
|------|---|--------|----------|-----|------------------|
| 授業形態 | 演習  | 科目名    | ビジネスマナー  |     |                  |
| 必修選択 | 選択  | (学則表記) | ビジネスマナー  |     |                  |
| 開講   |   |        |          |     |                  |
| 年次   | 1年  | 学科     | 診療情報管理士科 | 単位数 | 2                |
| 時間数  |   |        |          |     | 60               |
| 使用教材 | サービス接遇検定3級公式テキスト<br>サービス接遇検定3級実問題集 第46回～52回<br>新秘書特講<br>秘書検定3級実問題集2023年度版<br>医療秘書技能検定実問題集 3級①2023 |        |          | 出版社 | 早稲田教育出版<br>つちや書店 |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |   |  |  |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | サービス接遇、秘書業務の学習を通じてビジネスマナー全般の知識を習得する<br>医療事務員として働くにあたり必要となる接遇・マナーを身につける   |      |   |  |  |
| 到達目標   | 相手を感じがよいと思う言葉遣いや相手に満足と感じてもらえる行動ができる<br>社会に出て働く人に求められる基本的な仕事の仕方・態度振る舞いができる<br>愛想と愛嬌を理解し医療事務員として必要なマナーや考え方を理解して行動に移すことができる |      |   |  |  |
| 評価基準   | 期末テスト40%、小テスト30%、授業態度（提出物含む）30%  |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者  |      |   |  |  |
| 関連資格   | サービス接遇実務検定/秘書技能検定/ビジネス文書技能検定/医療秘書技能検定  |      |   |  |  |
| 関連科目   | 医事業務実践ベーシックⅠB  |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。  |      |   |  |  |
| 担当教員   | 宮内 まゆみ   | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | そごう横浜店/人事部教育課/7年   |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                       | 内容                                |
|----|--------------------------|-----------------------------------|
| 1  | オリエンテーション<br>サービススタッフの資質 | 授業の流れ・到達目標について<br>サービススタッフの資質について |
| 2  | 専門知識・一般知識                | サービスの意義について                       |
| 3  | 対人技能①                    | 人間関係・接遇知識・服装について                  |
| 4  | 対人技能②                    | 話し方について                           |
| 5  | 実務技能①                    | 問題処理・環境整備・金品管理について                |
| 6  | 実務技能②<br>検定対策①           | 社交業務について<br>検定に向けた対策①             |

|    |                   |  |
|----|-------------------|--|
| 7  | 検定対策②             | 検定に向けた対策②                                |
| 8  | 検定対策③             | 検定に向けた対策③                                |
| 9  | マナー・接遇①           | 挨拶、話し方について                               |
| 10 | マナー・接遇②           | 電話応対について                                 |
| 11 | マナー・接遇③           | 来客応対について                                 |
| 12 | マナー・接遇④           | 交際業務について                                 |
| 13 | 必要とされる資質          | 職業人としての自覚と心構えについて                        |
| 14 | 求められる能力<br>期末テスト  | 処理力と対人関係能力について<br>期末テストの実施               |
| 15 | 職務知識<br>総まとめ      | 秘書の機能について<br>テストの振り返りと総まとめ               |
| 16 | オリエンテーション<br>職務知識 | 前期の振り返りと授業の流れ・到達目標について<br>効率的な仕事の進め方について |
| 17 | 一般知識①             | 社会常識について                                 |
| 18 | 一般知識②             | 経営知識について                                 |
| 19 | まとめ①<br>検定対策①     | 1回～3回のまとめ<br>医療秘書技能検定に向けた対策①             |
| 20 | 技能①               | ビジネス文書について                               |
| 21 | 技能②               | メモとグラフについて                               |
| 22 | 資料管理              | 資料管理について                                 |
| 23 | まとめ②              | 5回～7回のまとめ                                |
| 24 | マナー・接遇振り返り        | 社会人に求められる態度・振る舞いについて                     |
| 25 | まとめ③              | 秘書技能検定の記述問題対策                            |
| 26 | まとめ④              | 理論・実技総まとめ                                |
| 27 | 検定対策②             | 秘書技能検定に向けた対策①                            |
| 28 | 検定対策③             | 秘書技能検定に向けた対策②                            |
| 29 | 検定対策④<br>期末テスト    | 秘書技能検定に向けた対策③<br>期末テストの実施                |
| 30 | 総まとめ              | テストの振り返りと総まとめ                            |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |          |                 |     |
|------|---|--------|----------|-----------------|-----|
| 授業形態 | 演習                                      | 科目名    | ペン字      |                 |     |
| 必修選択 | 選択                                      | (学則表記) | ペン字      |                 |     |
| 開講   |   |        |          | 単位数             | 時間数 |
| 年次   | 1年                                      | 学科     | 診療情報管理士科 | 1               | 45  |
| 使用教材 | 3級合格のポイント<br>あなたも書き文字美人にきれいな文字の書き方<br>心 |        | 出版社      | 日本習字普及協会<br>二玄社 |     |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |   |  |  |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 字に関する、きれいに書く技術・知識を身に付ける。   |      |   |  |  |
| 到達目標   | ペン字検定の合格を目指し効率よく美しく正確な文字を書くことができる。<br>余白、文字の大きさに注意して体裁がよく書くことができる。 |      |   |  |  |
| 評価基準   | テスト（小テスト）を含む60%、提出物30%、授業態度10%                                     |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総授業時間の3分の2以上である者<br>成績評価が2以上の者                                  |      |   |  |  |
| 関連資格   | 硬筆書写技能検定   |      |   |  |  |
| 関連科目   | 医療業務実践ベーシックⅠA/ビジネスマナー  |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。  |      |   |  |  |
| 担当教員   | 萩原 純子  | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | 読売・日本テレビ文化センターにて講師/15年間<br>財団法人日本書道教育学会 通信教育部にて職員/2年間              |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                                    | 内容                             |
|----|---------------------------------------|--------------------------------|
| 1  | 授業の説明、配布物<br>第1問の説明、練習<br>(理) 第7問について | オリエンテーション<br>授業の目標、内容、検定について   |
| 2  | 第2問の説明、練習<br>(理) 第8問について              | (合) 第2問 楷書、行書の特徴について<br>筆順について |
| 3  | 第3問の説明、練習<br>第4問の説明、練習                | 楷書と行書の違い<br>第1問との違いについて        |
| 4  | 第5問の説明、練習<br>(理) 第9問について              | レイアウトの確認、練習<br>草書について          |
| 5  | 第6問の説明、練習<br>(理) 第10問について             | レイアウトの確認、練習<br>間違い探し           |
| 6  | 検定全体の流れ、検定対策                          | 検定の流れについて<br>検定ポイントチェック        |

|    |                         |   |
|----|-------------------------|---|
| 7  | 模擬テスト                   | 時間、手際について工夫していることを考察する  |
| 8  | 模擬テスト                   | 丁寧に書くこと・工夫していることについて考察する                                      |
| 9  | 模擬テスト                   | 模擬テストを振り返ってポイントを確認する<br>自分の注意している点について振り返る                    |
| 10 | 検定振り返り<br>履歴書の説明        | 検定についての感想、問題点等を振り返り考察する<br>履歴書に必要な現住所、学歴、取得資格について             |
| 11 | 履歴書の説明、練習               | 手本を書き写し、良い印象を与える履歴書についてディスカッションを行う<br>鉛筆書き練習                  |
| 12 | 履歴書の練習・封筒の書き方           | 全体の鉛筆書き練習（履歴書を書く上でのポイントの復習をする）<br>色々な大きさの封筒の書き方               |
| 13 | 履歴書の練習・御礼状の練習           | ペン書き練習（鉛筆書きとペン書きとの違いを確認する）<br>御礼状の作成                          |
| 14 | 履歴書の練習・御礼状の練習<br>期末テスト  | 履歴書の清書をする<br>御礼状の練習<br>期末テスト                                  |
| 15 | まとめ                     | 授業の振り返りをする  |
| 16 | ひらがな<br>ひらがな字源          | ひらがなの字源を知り、ひらがなの特徴を捉え正しく<br>美しいひらがなを書く練習をする（P6～）              |
| 17 | カタカナ                    | 正しいカタカナを書く練習をする（P32～）   |
| 18 | 基本点画                    | 漢字の基本となる9種類の基本点画を練習する（P46～）                                   |
| 19 | 字形の整え方                  | 字形の整え方を①点画の組み立て方②部分の組み立て方③全体の整え方、3つのポイントに分けて理解し実際に書いてみる（P48～） |
| 20 | 字形の整え方                  |   |
| 21 | 名前の練習                   | 一般的な名前の練習をする<br>旧字体、書写体の説明（P112～）                             |
| 22 | 地名の練習<br>アルファベット・数字     | 都道府県名、都市名の練習をする（P104～）<br>自己流にならないよう数字、アルファベットを正確に書く（P96～99）  |
| 23 | 履歴書の練習<br>正しい文字と言葉使いの練習 | 前期に書いた文字とどれくらいの変化があるかを確認させる<br>実習や就職するにあたって必要になる書類の文字の練習をする   |
| 24 | 履歴書の練習<br>正しい文字と言葉使いの練習 | 前期に書いた文字とどれくらいの変化があるかを確認させる<br>実習や就職するにあたって必要になる書類の文字の練習をする   |
| 25 | 総復習                     | ひらがな、カタカナ、漢字の総復習をする<br>実習や就職活動で必要になる書類の文字の練習をする               |
| 26 | 一筆箋の書き方（はがきを書く）         | 手書きによるはがきの効果を考えて、様々な場面のはがきを書いてみる（P118～）                       |
| 27 | 書き始め                    | 新年度どんな1年にしたいかを考え、決意を漢字1文字に表し発表する                              |
| 28 | 慶弔関連                    | のし袋、芳名帳の書き方の説明をする<br>実際の場面（結婚式受付等）を想定して書く（P138）               |
| 29 | 総合テスト                   | 後期のまとめテストを実施する<br>自分の書く字がどのように変わったか自分自身で確認する                  |
| 30 | まとめ                     | 授業の振り返りをする  |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |                 |        |          |     |       |
|------|-----------------|--------|----------|-----|-------|
| 授業形態 | 講義              | 科目名    | 診療情報管理基礎 |     |       |
| 必修選択 | 選択              | (学則表記) | 診療情報管理基礎 |     |       |
| 開講   |                 |        |          |     |       |
| 年次   | 1年              | 学科     | 診療情報管理士科 | 単位数 | 15    |
| 使用教材 | 診療情報管理パーフェクトガイド |        |          | 出版社 | 医学通信社 |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |  |   |  |
|--------|--|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 診療情報管理士としての基本意義・要件・仕事内容を理解し、具体的な職業のイメージを知る                                 |      |  |   |  |
| 到達目標   | 診療情報管理士の仕事内容を説明することができる<br>診療情報管理士のやりがいを述べるすることができる<br>病院見学时に業務に参加することができる |      |  |   |  |
| 評価基準   | 評価テスト50%、小テスト30%、授業態度20%   |      |  |   |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者  |      |  |   |  |
| 関連資格   |  |      |  |   |  |
| 関連科目   |  |      |  |   |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。  |      |  |   |  |
| 担当教員   | 川嶋 静恵  | 実務経験 |  | ○ |  |
| 実務内容   | 国立がん研究センター東病院/診療情報管理士/2年<br>新保クリニック/医療事務・医師事務作業補助者/8年                      |      |  |   |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                      | 内容                          |
|----|-------------------------|-----------------------------|
| 1  | オリエンテーション<br>診療情報管理とは何か | 診療情報管理の基本要件・意義について          |
| 2  | 診療情報管理士資格とは             | 診療情報管理士認定試験取得するために          |
| 3  | 診療情報管理と関連法規             | 診療情報の記載に関する法的要件について         |
| 4  | 診療報酬制度と診療情報管理           | 保険診療の基本となる診療記録の記載方法について     |
| 5  | 診療情報管理体制                | 診療情報管理の体制整備と組織づくり、保管体制について  |
| 6  | 診療記録の様式と記載              | 診療記録の様式・記載方法について            |
| 7  | 電子カルテと診療録               | 電子カルテの定義・診療録の電子化に関する3原則について |
| 8  | ICDコーディング               | ICDコーディングの概念について            |

|    |              |   |
|----|--------------|---|
| 9  | ICDコーディング    | コーディングルールについて   |
| 10 | がん登録について     | がん登録の種類、がん登録の法制化・届出基本事項・仕組み・院内がん登録・<br>全国がん登録・臓器別がん登録について |
| 11 | 統計とデータの活用    | 医療統計の基本・統計学・推測統計学・統計的仮説検定・<br>病院統計と診療情報管理・制度について          |
| 12 | DPCと診療情報管理   | DPCとは何か・診断群分類の構造について                                      |
| 13 | クリニカルパスと診療記録 | クリニカルパスとは何か・形式と時間軸、クリニカルパスの運用管理について                       |
| 14 | 確認テスト        | 確認テストを実施  |
| 15 | 前期振り返り       | 前期の振り返り実施   |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |                            |        |          |                      |    |
|------|----------------------------|--------|----------|----------------------|----|
| 授業形態 | 講義                         | 科目名    | 診療情報管理Ⅰ  |                      |    |
| 必修選択 | 必修                         | (学則表記) | 診療情報管理Ⅰ  |                      |    |
| 開講   |                            |        |          |                      |    |
| 年次   | 1年                         | 学科     | 診療情報管理士科 | 単位数                  | 15 |
| 使用教材 | 診療情報管理Ⅳ<br>診療情報管理パーフェクトガイド |        | 出版社      | 一般社団法人日本病院会<br>医学通信社 |    |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |   |  |  |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 診療記録の定義や価値、あるいは診療情報管理の意義について習得する<br>関連する管理規約や法令、特に個人情報保護法について理解する |      |   |  |  |
| 到達目標   | 診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する<br>認定試験に必要な知識を習得する              |      |   |  |  |
| 評価基準   | 小テスト30%、確認テスト40%、授業姿勢30%  |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者                                   |      |   |  |  |
| 関連資格   | 診療情報管理士   |      |   |  |  |
| 関連科目   |   |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。   |      |   |  |  |
| 担当教員   | 霞堂 徳子   | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | 東海大学医学部附属病院/診療情報管理士/7年  |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                  | 内容   |
|----|---------------------|--|
| 1  | 8-1<br>診療情報管理の意義と役割 | 8章で何を学ぶかの説明<br>用語の定義(パーフェクトガイドP2~3)<br>診療記録の価値⇒7つの価値と内容            |
| 2  | 8-2<br>診療情報管理の歴史    | 診療記録のルーツ<br>諸外国における診療情報管理⇒AHIMA、RHIA、RHIT                          |
| 3  | 8-2<br>診療情報管理の歴史    | 日本における診療情報管理⇒診療記録の法的変遷<br>現代におけるまでの流れ                              |
| 4  | 8-3<br>診療情報管理と法規等   | 診療記録の記載と保存についての法規<br>⇒それぞれの法規名と内容<br>⇒診療情報管理士が関わる法令上作成保存が求められている書類 |
| 5  | 8-3<br>診療情報管理と法規等   | 診療記録の電子化に関する法規⇒法規の変遷<br>診療記録の提示に関する法規                              |
| 6  | 8-3<br>診療情報管理と法規等   | 医療事故に伴う法的責任⇒民事・刑事・行政上の責任<br>診療情報の守秘に関する法規⇒秘密漏示・漏泄 個人情報保護法          |
| 7  | 問題演習・小テスト           | 8章問題集演習<br>確認問題(小テスト)  |

|    |                   |   |
|----|-------------------|---|
| 8  | 8-3<br>診療情報管理と法規等 | 個人情報の保護に関する法律<br>⇒海外・日本⇒OECDの8原則 要点<br>個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応<br>⇒利用目的に対する対応<br>⇒安全管理措置 |
| 9  | 8-3<br>診療情報管理と法規等 | 個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応<br>⇒委託先の監督<br>⇒患者からの要求への対応、留意点、苦情の対応                             |
| 10 | 8-3<br>診療情報管理と法規等 | 診療情報の提供等に関する指針<br>確認問題(小テスト)  |
| 11 | 8-4<br>診療記録の記載方式  | 診療記録の記載方式⇒POSについて・フォーカスチャートング・クリニカルパスについて<br>診療記録の記載方法原則⇒診療録の基本的な記載事項（主訴・現病歴・既往歴等）            |
| 12 | 8-5<br>診療情報の記載    | 診療記録の種類と記載内容<br>⇒一号用紙、問題リスト、入院診療計画書   |
| 13 | 8-5<br>診療情報の記載    | 診療記録の種類と記載内容<br>⇒退院時要約、説明同意書、コ・メディカルの記載用紙   |
| 14 | 8章 テスト            | 40分程度のテストを実施  |
| 15 | テストの解説            | テストの解説を行う   |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |                            |        |           |                      |     |
|------|----------------------------|--------|-----------|----------------------|-----|
| 授業形態 | 講義                         | 科目名    | 診療情報管理Ⅱ－① |                      |     |
| 必修選択 | 必修                         | (学則表記) | 診療情報管理Ⅱ－① |                      |     |
| 開講   |                            |        |           | 単位数                  | 時間数 |
| 年次   | 1年                         | 学科     | 診療情報管理士科  | 1                    | 15  |
| 使用教材 | 診療情報管理Ⅳ<br>診療情報管理パーフェクトガイド |        | 出版社       | 一般社団法人日本病院会<br>医学通信社 |     |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |  |   |  |
|--------|--|------|--|---|--|
| 授業のねらい | ナンバリングやファイリングといった、診療情報管理士に必要な技能全般を習得する |      |  |   |  |
| 到達目標   | 診療情報管理士認定試験に向けて、教科書の内容を習得する            |      |  |   |  |
| 評価基準   | 評価テスト60%、小テスト30%、授業態度10%               |      |  |   |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者        |      |  |   |  |
| 関連資格   | 診療情報管理士                                |      |  |   |  |
| 関連科目   |  |      |  |   |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。                  |      |  |   |  |
| 担当教員   | 霞堂 徳子                                  | 実務経験 |  | ○ |  |
| 実務内容   | 東海大学医学部附属病院/診療情報管理士/7年                 |      |  |   |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                          | 内容  |
|----|-----------------------------|---|
| 1  | 9-1<br>診療情報管理士について          | 診療情報管理士とは何かを理解する  |
| 2  | 9-1<br>診療情報管理士について          | 診療情報管理士の業務指針を理解する   |
| 3  | 9-2<br>診療情報管理士に求められる資質      | 必要な知識と技能、視点について理解する   |
| 4  | 9-3<br>診療情報管理士の基本業務         | 体系的、一元的に管理する業務について理解する<br>診療情報を安全に管理する業務について理解する                      |
| 5  | 9-3<br>診療情報管理士の基本業務         | 診療情報を点検する業務について理解する<br>診療情報を有効に活用する業務について理解する<br>診療情報を提供する業務について理解する  |
| 6  | 9-4<br>個人情報保護の視点からの<br>保管管理 | 「第三者提供の制限」について理解する<br>「開示の求めに応じる義務」について理解する<br>「訂正等の求めに応じる義務」について理解する |
| 7  | 9-5<br>紙カルテ運用における診療情報管理     | ナンバリング（番号法）について理解する<br>ファイリング（保管法）について理解する                            |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 8  | 9-5<br>紙カルテ運用における診療情報管理  | 保存期間、保存方法、バージョンについて理解する<br>紙カルテの管理方式について理解する                                   |
| 9  | 9-5<br>紙カルテ運用における診療情報管理  | 紙カルテの貸出管理について理解する<br>紙カルテの回収について理解する   |
| 10 | 9-5<br>紙カルテ運用における診療情報管理  | 紙カルテの記載内容の点検について理解する   |
| 11 | 9-6<br>電子カルテ運用における診療情報管理   | 電子カルテの運用、位置づけ、システム障害時の対応、<br>電子カルテの記録・運用指針について理解する<br>電子カルテに記載する場所の明確化について理解する |
| 12 | 9-6<br>電子カルテ運用における診療情報管理   | 紙媒体に作成された情報の保存について理解する   |
| 13 | 9-7 診療情報の提供に係る業務<br>9-8 診療情報管理士による改善への取<br>り組み<br>9-9 診療情報管理士の活動組織 | 診療情報の点検について理解する<br>個人情報保護への対応について理解する  |
| 14 | 9章 テスト   | 40分程度のテストを実施   |
| 15 | 総まとめ   | テストの振り返りと総まとめを行う   |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |  |        |             |     |                                  |     |
|------|--|--------|-------------|-----|----------------------------------|-----|
| 授業形態 | 演習   | 科目名    | 医事CP・電子カルテⅠ |     |                                  |     |
| 必修選択 | 選択   | (学則表記) | 医事CP・電子カルテⅠ |     |                                  |     |
| 開講   |  |        |             |     | 単位数                              | 時間数 |
| 年次   | 1年   | 学科     | 診療情報管理士科    | 2   | 60                               |     |
| 使用教材 | コンピュータ入力練習用「カルテ例題集」<br>医事コンピュータ3級技能検定問題集①、②<br>診療報酬点数表、医療事務テキストⅡ、早見表 |        |             | 出版社 | ケアアンドコミュニケーション<br>つちや書店<br>医学通信社 |     |

## 科目の基礎情報②

|        |  |      |  |   |  |
|--------|--|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 医療事務コンピュータの役割、必要性を理解する。<br>医療事務で学んだ診療報酬算定の知識を基に医事CPを用いて正確な算定技術を習得する。 |      |  |   |  |
| 到達目標   | 医療事務コンピュータの役割と必要性を説明できる。<br>コンピュータを用いて正しく請求を選定できるようになる。              |      |  |   |  |
| 評価基準   | テスト70%、小テスト20%、授業態度10%   |      |  |   |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者                                      |      |  |   |  |
| 関連資格   | 医療事務コンピュータ技能認定試験   |      |  |   |  |
| 関連科目   | 医科医療事務ⅠA/医科医療事務ⅠB/医科医療事務Ⅱ/医療秘書概論                                     |      |  |   |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する   |      |  |   |  |
| 担当教員   | 織田 麻里子   | 実務経験 |  | ○ |  |
| 実務内容   | 井上小児科皮膚科/医療事務/2年   |      |  |   |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                            | 内容  |
|----|-------------------------------|---|
| 1  | 医事CPの授業目的、概要説明<br>CP基本操作・検定案内 | 医療機関における医事CPの役割と活用性<br>システムの起動・終了操作、USBの取り扱い・検定日の案内 |
| 2  | 外来患者入力①                       | 患者登録・病名の入力  |
| 3  | 外来患者入力②                       | 診察料・医学管理の入力   |
| 4  | 外来患者入力③                       | 投薬・doの入力  |
| 5  | 外来患者入力④                       | 注射の入力   |
| 6  | 外来患者入力⑤                       | 処置の入力   |

|    |                   |  |
|----|-------------------|--|
| 7  | 外来患者入力⑥           | 麻酔・手術の入力   |
| 8  | 外来患者入力⑦           | 検査・病理の入力   |
| 9  | 外来患者入力⑧           | 画像診断の入力  |
| 10 | 外来患者入力⑨           | 外来カルテ入力のまとめ①／小テスト  |
| 11 | 外来患者入力⑩           | 外来カルテ入力のまとめ②   |
| 12 | 外来患者入力⑪           | 外来カルテ入力のまとめ③   |
| 13 | テスト               | テスト実施（問題は各校にて作成）   |
| 14 | 伝票形式入力①           | 外来の伝票形式の入力演習①  |
| 15 | 伝票形式入力②           | 外来の伝票形式の入力演習②  |
| 16 | オリエンテーション<br>前期復習 | 授業の流れ、検定について説明<br>前期復習   |
| 17 | 検定対策①【実技】         | 診療録形式・伝票形式の入力演習⇒印刷し、マークシート記入まで   |
| 18 | 検定対策②【医事学科】       | 学科の医事分野の演習   |
| 19 | 検定対策③【CP関連】       | CP内の内部処理（情報表現）、CPの五大装置と機能・周辺装置の種類と特徴<br>インターフェースの種類と特徴、ソフトウェアの種類と特徴、オペレーティングシステムの種類と特徴<br>アプリケーションソフト（ワープロ）の基本操作 |
| 20 | 検定対策④【実技】         | 診療録形式・伝票形式の入力演習⇒印刷し、マークシート記入まで／小テスト  |
| 21 | 検定対策⑤【実技】         |  |
| 22 | 検定対策⑥【実技】／小テスト    |  |
| 23 | 入院患者入力①           | 外来と入院の相違の入力  |
| 24 | 入院患者入力②           | 食事・入院料の入力  |
| 25 | 入院患者入力③           | 入院患者入力演習①  |
| 26 | 入院患者入力④           | 入院患者入力演習②  |
| 27 | 入院患者入力⑤           | 入院患者入力演習③  |
| 28 | テスト               | テスト実施（問題は各校にて作成）   |
| 29 | 電子カルテ①            | 電子カルテの基本操作、オーダーリングシステムの役割<br>SOAPの意味、問診表の入力  |
| 30 | 電子カルテ②            | カルテ入力（症状・所見・病名・投薬・注射・処置・検査・画像診断等）  |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |                                    |        |                         |     |                            |
|------|------------------------------------|--------|-------------------------|-----|----------------------------|
| 授業形態 | 演習                                 | 科目名    | 医事業務実践ベーシックⅠA（受付・会計・請求） |     |                            |
| 必修選択 | 選択                                 | （学則表記） | 医事業務実践ベーシックⅠA           |     |                            |
| 開講   |                                    |        |                         |     |                            |
| 年次   | 1年                                 | 学科     | 診療情報管理士科                | 単位数 | 2                          |
| 時間数  |                                    |        |                         |     | 30                         |
| 使用教材 | 医療の接遇<br>窓口事務必携ハンドブック<br>医療事務テキストⅠ |        |                         | 出版社 | 医療タイムズ社<br>医学通信社<br>ユアサポート |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |   |  |  |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 医療現場で求められている窓口対応を実践できるスキルを身につける                                       |      |   |  |  |
| 到達目標   | 診療所、病院での受付のポイントを述べるができる<br>ケースワークや様々なシュミレーションを通じて、自分なりに表現することができる     |      |   |  |  |
| 評価基準   | 発表・実践40%、期末テスト30%、授業態度20%、小テスト10%                                     |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者                                       |      |   |  |  |
| 関連資格   |   |      |   |  |  |
| 関連科目   | 医科医療事務ⅠA/医科医療事務ⅠB/医事業務実践ベーシックⅠB/医事業務実践ベーシックⅠC                         |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。   |      |   |  |  |
| 担当教員   | 渡邊 真由美  | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | 東京女子医科大学第二病院/医療事務/1年6カ月<br>しながわこどもクリニック/受付・会計/8年<br>げんき鍼灸接骨院/受付・会計/3年 |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                          | 内容                                 |
|----|-----------------------------|------------------------------------|
| 1  | オリエンテーション                   | ベーシックⅠAについて                        |
| 2  | 医療機関ってどんなところ？<br>各種保険証について① | 医療機関について<br>各種保険証について              |
| 3  | 各種保険証について①<br>受付対応① 【基本】    | 病院・診療所での受付の違い<br>各種保険証について         |
| 4  | 受付対応② 【基本】                  | 初診受付について 保険証の預かり・問診票の記入 診察券発行      |
| 5  | 受付対応③ 【基本】                  | 再診受付について 保険証と診察券の預かり・お返しまで         |
| 6  | 受付対応小テスト                    | 初診・再診の受付のシュミレーション 保険証の預かり・確認・お返しまで |
| 7  | 受付対応④ 【応用】                  | 初診時におこりやすいトラブルについて                 |

|    |                               |                                  |
|----|-------------------------------|----------------------------------|
| 8  | 受付対応② 【応用】                    | 再診時におこりやすいトラブル                   |
| 9  | 受付対応③ 【応用】                    | クレーム対応について 待ち時間など                |
| 10 | 受付シミュレーションテスト                 | 受付対応シミュレーション実践                   |
| 11 | 会計対応① 【基本】                    | 自己負担割合について                       |
| 12 | 会計対応② 【基本】                    | 金銭受理の仕方について                      |
| 13 | 会計対応③ 【応用】                    | 自費から保険請求に切り替え時の説明                |
| 14 | 期末テスト                         | 【受付・会計】 対応まとめ期末テストの実施            |
| 15 | 前期振り返りと総まとめ                   | 受付・会計を通してシミュレーション実践（応用まで）        |
| 16 | 受付対応① 【高齢者受給者】                | 前期復習<br>前期・後期高齢者、保険証の確認と給付割合について |
| 17 | 受付対応② 【医療費助成制度】               | 「乳児医療証」「子ども医療証」「ひとり親医療証」について     |
| 18 | 受付対応③ 【労災保険制度】                | 労災保険制度について                       |
| 19 | 受付対応④ 【自賠責保険制度】<br>小テスト       | 自賠責保険制度について                      |
| 20 | 受付対応シミュレーション実践                | 高齢者・医療制度・労災・自賠  シミュレーション実践       |
| 21 | 受付対応シミュレーションテスト               | 高齢者・医療制度・労災・自賠  シミュレーション実践       |
| 22 | 会計対応① 【各種書類】                  | 診断証・証明証・紹介状の会計について<br>領収証の見方     |
| 23 | 受付対応① 【入院】                    | 入院手続きについて                        |
| 24 | 受付対応② 【入院】                    | 入院手続きについて                        |
| 25 | 会計対応 【入院】                     | 精算の仕方、請求の締め日について                 |
| 26 | 期末テスト                         | 期末テストの実施                         |
| 27 | シミュレーション大会準備                  | 各テーマを決め、グループに分かれてシミュレーション実践      |
| 28 | シミュレーション大会準備                  | 各テーマを決め、グループに分かれてシミュレーション実践      |
| 29 | シミュレーション大会準備<br>シミュレーション実践まとめ | シミュレーション実践テストの実施                 |
| 30 | 後期振り返りと総まとめ                   | 後期のまとめと1年間の振り返りと総まとめ             |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |          |        |                          |     |    |
|------|----------|--------|--------------------------|-----|----|
| 授業形態 | 演習       | 科目名    | 医事業務実践ベーシックⅠB（医療コンシェルジュ） |     |    |
| 必修選択 | 選択       | （学則表記） | 医事業務実践ベーシックⅠB            |     |    |
| 開講   |          |        |                          |     |    |
| 年次   | 1年       | 学科     | 診療情報管理士科                 | 単位数 | 2  |
| 時間数  |          |        |                          |     | 30 |
| 使用教材 | 新版 医療の接遇 | 出版社    | 医療タイムズ社                  |     |    |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |  |  |  |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 医療現場で求められている窓口対応を実践できるスキルを身につける                   |      |  |  |  |
| 到達目標   | 医療現場で求められている患者様対応ができる                             |      |  |  |  |
| 評価基準   | 発表・実践40%、期末テスト30%、授業態度20%、小テスト10%                 |      |  |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者                   |      |  |  |  |
| 関連資格   | サービス接遇実務検定/秘書技能検定/ビジネス文書技能検定                      |      |  |  |  |
| 関連科目   | ビジネスマナー/医事業務実践ベーシックⅠB/医事業務実践ベーシックⅠA/医事業務実践ベーシックⅠC |      |  |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。                             |      |  |  |  |
| 担当教員   | 押江 優花   | 実務経験 |  |  |  |
| 実務内容   |   |      |  |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                        | 内容   |
|----|---------------------------|--|
| 1  | オリエンテーション<br>ホスピタリティと医療接遇 | 授業の概要について<br>ホスピタリティとは何か、また医療におけるホスピタリティについて |
| 2  | 医療における接遇とは                | 医療業界に求められている接遇のスキルについて<br>患者様が不満を感じる対応について   |
| 3  | 第一印象・身だしなみ・表情             | 第一印象・身だしなみ・表情が患者様に与える影響について                  |
| 4  | 挨拶・態度・動作                  | 挨拶実践と、態度や動作が患者様に与える影響について                    |
| 5  | 受付実践                      | 受付対応の実践                                      |
| 6  | 言葉づかい、敬語、美化語①             | 社会人として必ず身につけておきたい言葉づかいの実践①                   |
| 7  | 言葉づかい、敬語、美化語②             | 社会人として必ず身につけておきたい言葉づかいの実践②                   |
| 8  | ケーススタディ                   | 患者様への配慮と思いやりを態度で表現する具体例の実践                   |
| 9  | まとめ<br>会計対応               | 1回から8回のまとめ<br>会計対応を実践                        |

|    |                      |                                      |
|----|----------------------|--------------------------------------|
| 10 | 電話応対①                | 電話応対の基本・受け方・かけ方・伝言メモ・電話でのクレームについて実践① |
| 11 | 電話応対②                | 電話応対の基本・受け方・かけ方・伝言メモ・電話でのクレームについて実践② |
| 12 | 電話応対③                | 電話応対の基本・受け方・かけ方・伝言メモ・電話でのクレームについて実践③ |
| 13 | 電話応対④                | 電話応対の基本・受け方・かけ方・伝言メモ・電話でのクレームについて実践④ |
| 14 | 期末テスト                | 期末テストの実施                             |
| 15 | 総まとめ                 | テストの振り返りと総まとめ                        |
| 16 | オリエンテーション<br>前期の振り返り | 授業の概要について<br>前期の内容を復習                |
| 17 | 話の聞き方                | どのような話の聴き方だと相手が心を開きたくなるかを実践          |
| 18 | 患者さまの心理              | 患者様の心理とその対応について                      |
| 19 | 対応のポイント①             | 場面に応じた配慮や、臨機応変に対応することについて実践①         |
| 20 | 対応のポイント②             | 場面に応じた配慮や、臨機応変に対応することについて実践②         |
| 21 | 対応のポイント③             | 場面に応じた配慮や、臨機応変に対応することについて実践③         |
| 22 | まとめ<br>会計対応          | 1回から6回のまとめ<br>会計対応の実践                |
| 23 | 社会人としての常識①           | 一般的なビジネスマナーについて                      |
| 24 | 社会人としての常識②           | 報告、連絡、相談について、遅刻、早退、欠勤について            |
| 25 | 社会人としての常識③           | 来客応対について                             |
| 26 | 期末テスト                | 期末テストの実施                             |
| 27 | 1年の振り返り①             | 1年の総まとめ①                             |
| 28 | 1年の振り返り②             | 1年の総まとめ②                             |
| 29 | 1年の振り返り③             | 1年の総まとめ③                             |
| 30 | 1年の振り返り④             | 1年の総まとめ④                             |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |                      |     |     |
|------|---|--------|----------------------|-----|-----|
| 授業形態 | 演習  | 科目名    | 医事業務実践ベーシックⅠC（医学的内容） |     |     |
| 必修選択 | 選択  | （学則表記） | 医事業務実践ベーシックⅠC        |     |     |
| 開講   |   |        |                      | 単位数 | 時間数 |
| 年次   | 1年  | 学科     | 診療情報管理士科             | 1   | 15  |
| 使用教材 | 新医療秘書医学シリーズ③ 臨床医学Ⅰ内科<br>新医療秘書医学シリーズ④ 臨床医学Ⅱ外科<br>新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学 |        | 出版社                  | 建帛社 |     |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |   |  |  |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 医療現場で求められている窓口対応を実践するための医学的知識とスキルを身につける                   |      |   |  |  |
| 到達目標   | 医療現場での対応例を習得し、疾患学と診療報酬を結びつけて説明する事が出来る                     |      |   |  |  |
| 評価基準   | 実践40%、期末テスト30%、授業態度20%、小テスト10%                            |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者                           |      |   |  |  |
| 関連資格   |   |      |   |  |  |
| 関連科目   | 医事業務実践ベーシックⅠA/医事業務実践ベーシックⅠB/看護学（解剖・生理）/疾患学                |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。                                     |      |   |  |  |
| 担当教員   | 石井 聡子   | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | 医療法人明徳会 総合新川橋病院／臨床検査技師／15年<br>公益財団法人 神奈川県予防医学協会／臨床検査技師／4年 |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                       | 内容  |
|----|--------------------------|---|
| 1  | はじめに<br>感染症の理解           | 授業の目的・目標・進め方の説明<br>各種ウイルスの感染経路、スタンダードプリコーションについて    |
| 2  | 感染症対策①<br>（空気、飛沫感染）      | 手指消毒、うがいの実践<br>マスクの正しいつけ方について                       |
| 3  | 感染症対策②<br>（飛沫、接触、血液媒介感染） | 感染経路別予防策について<br>手袋、防護具の装着法、リネンの取り扱いについて             |
| 4  | 感染症対策③                   | 医療器具の洗浄、滅菌について                                      |
| 5  | 感染症に対する対応実践              | 感染疑いのある患者来院時の対応実践を行う<br>感染疑いのある患者来院時の事前準備、到着後対応について |
| 6  | 小テスト（感染症対策）              | 感染対策が円滑にできるか確認テストを行う                                |
| 7  | 車いす、つえ使用実践               | 車いすの出し方、移動方法、たたみ方について                               |
| 8  |                          | 車いすの出し方、移動、たたみ方の実践を行う                               |

|    |                         |  |
|----|-------------------------|--|
| 9  | 疾患別対応①<br>(高血圧、糖尿病、心疾患) | 高血圧、糖尿病患者の症状、対応策について   |
| 10 |                         | 心疾患患者の症状、対応策について<br>胸痛の種類、心臓カテーテル検査の注意点について  |
| 11 | 疾患別対応② (消化器疾患)          | 消化器疾患の受診に適した診療科案内について<br>指定難病 (潰瘍性大腸炎、クローン病) の症状、対応策 (検査、投薬、食事) 症状悪化時の<br>対応、内視鏡検査の注意点、人工肛門の取り扱い、来院時に必要なものについて |
| 12 |                         |  |
| 13 |                         | 胃、十二指腸疾患患者の症状 (検査、投薬、食事) について<br>ヘリコバクターピロリ検査について  |
| 14 | 期末テスト                   | 疾患毎の対応策が理解できているかテストを行う   |
| 15 | 骨折とギプスの関係               | 各種骨折の理解、骨折部位毎のギプス、シーネの巻き方について  |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |  |        |          |     |              |     |
|------|--|--------|----------|-----|--------------|-----|
| 授業形態 | 演習   | 科目名    | パソコン実習Ⅰ  |     |              |     |
| 必修選択 | 選択   | (学則表記) | パソコン実習Ⅰ  |     |              |     |
| 開講   |  |        |          |     | 単位数          | 時間数 |
| 年次   | 1年   | 学科     | 診療情報管理士科 | 2   | 60           |     |
| 使用教材 | 30時間でマスター-Word<br>30時間でマスター-Excel<br>パソコン技能検定 対策問題集 3級<br>パソコン技能検定 模擬問題集 3級<br>パソコン技能検定 対策問題集 2級 |        |          | 出版社 | 実教出版<br>三幸学園 |     |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |   |  |  |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける<br>また、Word・Excelの操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける |      |   |  |  |
| 到達目標   | 10分間で350字のタッチタイピングができる。<br>Word、Excelの基本操作を学び、ビジネス文書がスムーズに作成できる         |      |   |  |  |
| 評価基準   | テスト60%、課題提出/平常点40%  |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者   |      |   |  |  |
| 関連資格   | パソコン技能検定  |      |   |  |  |
| 関連科目   |   |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。   |      |   |  |  |
| 担当教員   | 高田 綾子   | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | 医療介護関連会社/医療事務講師・診療情報管理士・パソコン講師/20年                                      |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元                       | 内容   |
|----|--------------------------|--|
| 1  | 導入・概要・タッチタイピング           | 授業のねらい・年間の授業予定等説明・検定について<br>Windowsの基本操作・タッチタイピングの方法と必要性について |
| 2  | タッチタイピング<br>Wordの基礎・基本入力 | タッチタイピング（繰り返し練習・ホームポジション）<br>変換、文節区切りの変更、再変換、ファンクションキーについて   |
| 3  | タッチタイピング・基本入力            | タッチタイピング（繰り返し練習・上段）<br>記号と特殊文字、手書き入力、IMEパッドについて              |
| 4  | タッチタイピング・基本編集            | タッチタイピング（繰り返し練習・下段）<br>フォント、フォントサイズ、文字修飾、コピー、貼り付けについて        |
| 5  | タッチタイピング・入力練習            | タッチタイピング（仕上げ）<br>教科書の入力問題実施                                  |
| 6  | ビジネス文書の基本                | 入力スピード練習（10分）<br>ビジネス文書の基本型と入力の仕方学ぶ                          |
| 7  | 表作成                      | 入力スピード練習（10分）<br>表作成の説明について                                  |

|    |                  |   |
|----|------------------|---|
| 8  | 文書作成①            | 入カスピード練習 (10分)<br>文書作成問題練習                                |
| 9  | 文書作成②            | 入カスピード練習 (10分)<br>文書作成問題練習                                |
| 10 | テスト (Word)       | 学科問題・入力問題・文書作成問題  |
| 11 | Excelの概要・データ入力   | 入カスピード練習 (10分)<br>Excelの初期画面、基本データ入力、オートフィル機能、罫線、四則計算について |
| 12 | Excel基本復習、基本的な関数 | 入カスピード練習 (10分)<br>Excel基本復習・SUM、AVERAGE、MAX、MIN、絶対参照について  |
| 13 | グラフ              | 入カスピード練習 (10分)<br>グラフの作成・グラフ要素について                        |
| 14 | テスト (Excel)      | 入カスピード練習 (10分)<br>Excelの確認テスト・表作成練習問題の実施                  |
| 15 | パソコンの知識          | 学科問題に必要な知識を学ぶ   |
| 16 | 前期復習             | 入カスピード練習 (10分)<br>文書作成問題・表計算問題                            |
| 17 | 表作成練習①           | 入カスピード練習 (10分)<br>表作成問題練習                                 |
| 18 | 表作成練習②           | 入カスピード練習 (10分)<br>表作成問題練習                                 |
| 19 | パソコン検定3級対策①      | 数式印刷について<br>入力問題、文書作成問題、表計算問題の練習                          |
| 20 | パソコン検定3級対策②      | 計測して練習<br>学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題                          |
| 21 | パソコン検定3級対策③      | 計測して練習<br>学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題                          |
| 22 | パソコン検定3級対策④      | 計測して練習<br>学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題                          |
| 23 | Wordのいろいろな機能①    | 入カスピード練習 (10分)<br>図形・ワードアート・画像について                        |
| 24 | Wordのいろいろな機能②    | 入カスピード練習 (10分)<br>段組み、ドロップキャップ、割注について                     |
| 25 | テスト (Word)       | 学科問題・入力問題・文書作成問題の実施                                       |
| 26 | Wordのいろいろな機能③    | 入カスピード練習 (10分)<br>文書作成練習                                  |
| 27 | Excelのいろいろな関数    | 入カスピード練習 (10分)<br>COUNT、RANK.EQ、ROUND、IFなど                |
| 28 | テスト (Excel)      | 入カスピード練習 (10分)<br>Excelの確認テスト・表作成練習問題                     |
| 29 | PowerPointの操作    | PowerPointについての基本操作について                                   |
| 30 | コンピュータ関連知識       | コンピュータ関連知識について  |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |          |     |   |
|------|---|--------|----------|-----|---|
| 授業形態 | 演習  | 科目名    | 医科医療事務ⅠA |     |   |
| 必修選択 | 必修  | (学則表記) | 医科医療事務ⅠA |     |   |
| 開講   |   |        |          |     |   |
| 年次   | 1年  | 学科     | 診療情報管理士科 | 単位数 | 4                                       |
| 時間数  |   |        |          |     | 120                                     |
| 使用教材 | 診療報酬点数早見表<br>カルテ問題集・薬価表・早見表<br>医療事務テキストⅠ・Ⅱ<br>検定過去問題集<br>医療秘書技能検定問題集3級② |        |          | 出版社 | 医学通信社<br>ユアサポート<br>全国医療事務教育協議会<br>つちや書店 |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |   |  |  |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 点数表を読み内容が理解でき、様々な算定に対応できる力を習得する                                 |      |   |  |  |
| 到達目標   | 点数表を読みこみ、医科・調剤のレセプトのポイントを述べることができる<br>医療事務検定1級、医療秘書技能検定3級が合格できる |      |   |  |  |
| 評価基準   | 評価テスト60%、提出物20%、授業態度20%   |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者                                 |      |   |  |  |
| 関連資格   | 医療事務検定/医療秘書技能検定/診療報酬請求事務能力認定試験                                  |      |   |  |  |
| 関連科目   | 医科医療事務ⅠB/医療秘書概論   |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する  |      |   |  |  |
| 担当教員   | 熊谷 由紀子  | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | (公財) 横浜勤労者福祉協会汐田総合病院他/外来・入院クランク、診療報酬請求事務/24年                    |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元        | 内容   |
|----|-----------|--|
| 1  | 医療事務とは    | オリエンテーション(目的、授業内容、検定について)<br>医療保険の種類、医療機関の種類、カルテの上書きについて |
| 2  | 初診料、再診料   | 初診料、初診料加算 再診料 再診料加算<br>外来診療料 外来診療料加算について                 |
| 3  | 医学管理      | 特、薬情、情、乳栄、喘息、外栄、皮膚、耳鼻、ウについて                              |
| 4  | 医学管理、在宅医療 | 医学管理の続き<br>在宅医療 往診料について                                  |
| 5  | 投薬        | 薬剤の種類、薬剤料の計算方法(内服薬、頓服薬、外用薬)について                          |
| 6  | 投薬        | 調剤料、処方料、調剤基本料、処方箋料について                                   |
| 7  | 注射        | 薬剤料、手技料<br>IM、IV、点滴、その他の注射、注射手技料の加算について                  |

|    |                   |  |
|----|-------------------|--|
| 8  | 処置                | 通則（簡単な処置、対称器官、時間外加算）   |
| 9  | 処置                | 点数表、テキストに沿って主な処置の説明について  |
| 10 | 手術                | 通則（対称器官、同一手術野、年齢加算、時間外加算）<br>点数表、テキストに沿って主な手術の説明について   |
| 11 | 麻酔、リハビリ           | 麻酔・神経ブロック：通則（前処置、年齢加算、時間外加算）<br>点数表、テキストに沿って主な麻酔（閉麻を除く）について<br>リハビリ：通則、疾患別リハビリテーション<br>精神科専門療法、放射線治療について |
| 12 | 検査                | 検体検査料：判断料、緊検、外迅検、尿検査～微生物学的検査   |
| 13 | 検査、病理判断           | 生体検査料：判断料、年齢加算、対称器官、心機能学的検査～について<br>病理診断料：診断料、判断料、病理学的検査～について  |
| 14 | 画像診断<br>テスト       | 緊画、画像診断管理加算<br>エックス線診断料、コンピュータ断層診断料、判断料について<br>テスト実施   |
| 15 | 在宅医療、医学管理         | 在宅医療：在宅自己注射指導管理料、訪問診療、訪問看護について<br>医学管理：薬、悪、てんかん、疼痛などについて   |
| 16 | 前期の復習<br>入院と外来の違い | 復習：学科問題実施<br>調剤料、IM・IV、点滴、処置、検査について  |
| 17 | 入院に関わるその他のもの      | 医学管理：薬管、手前、手後、肺予<br>輸血、麻酔（閉鎖循環式全身麻酔）について   |
| 18 | 入院基本料 入院基本料等加算    | 一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料<br>入院基本料等加算について   |
| 19 | 入院時食事療養費          | 入院基本料等加算つづき<br>入院時食事療養費について  |
| 20 | 医療秘書技能検定対策        | 医療秘書技能検定3級に向けた対策   |
| 21 | 医療事務検定1級対策        | 医療事務検定1級に向けた対策   |
| 22 | 医療事務検定1級対策        | 医療事務検定1級に向けた対策   |
| 23 | 医療事務検定1級対策        | 医療事務検定1級に向けた対策   |
| 24 | 医療事務検定1級対策        | 医療事務検定1級に向けた対策   |
| 25 | 診療報酬請求事務能力認定試験対策  | 複数の点数区分に当たる閉鎖循環式全身麻酔、人工透析、自己血輸血、中心静脈注射について<br>過去問題集：学科   |
| 26 | 調剤事務              | 保険調剤、薬の基礎知識、薬剤料の算定について   |
| 27 | 調剤事務              | 調剤報酬算定、薬学管理料について   |
| 28 | 調剤事務              | その他の算定例、レセプトの作成について  |
| 29 | 調剤事務              | 処方箋問題集、調剤薬局事務検定に向けた対策  |
| 30 | 1年間の総まとめ          | 1年間の総まとめ：調剤学科問題<br>総括、医療事務検定2級対策   |

# シラバス

## 科目の基礎情報①

|      |   |        |          |     |   |
|------|---|--------|----------|-----|---|
| 授業形態 | 演習  | 科目名    | 医科医療事務ⅠB |     |   |
| 必修選択 | 必修  | (学則表記) | 医科医療事務ⅠB |     |   |
| 開講   |   |        |          |     |   |
| 年次   | 1年  | 学科     | 診療情報管理士科 | 単位数 | 4                                       |
| 時間数  |   |        |          |     | 120                                     |
| 使用教材 | 診療報酬点数早見表<br>カルテ問題集・薬価表・早見表<br>医療事務テキストⅠ・Ⅱ<br>検定過去問題集<br>医療秘書技能検定問題集3級② |        |          | 出版社 | 医学通信社<br>ユアサポート<br>全国医療事務教育協議会<br>つちや書店 |

## 科目の基礎情報②

|        |   |      |   |  |  |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | カルテ内容を理解し、正確にレセプト作成ができる力を備える  |      |   |  |  |
| 到達目標   | 点数表を読み込み理解し、入院・外来レセプトを作成することができる<br>医療事務検定1級、医療秘書技能検定3級が合格できる<br>調剤報酬のレセプトを作成することができる |      |   |  |  |
| 評価基準   | 単元ごとの小テスト30%、評価テスト40%、提出物・授業態度30%   |      |   |  |  |
| 認定条件   | 出席が総時間数の3分の2以上ある者<br>成績評価が2以上の者   |      |   |  |  |
| 関連資格   | 医療事務検定/医療秘書技能検定/診療報酬請求事務能力認定試験  |      |   |  |  |
| 関連科目   | 医科医療事務ⅠA/医療秘書概論   |      |   |  |  |
| 備考     | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。   |      |   |  |  |
| 担当教員   | 熊谷 由紀子  | 実務経験 | ○ |  |  |
| 実務内容   | (公財) 横浜勤労者福祉協会汐田総合病院他/外来・入院クラーク、診療報酬請求事務/24年  |      |   |  |  |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

| 回数 | 単元           | 内容                    |
|----|--------------|-----------------------|
| 1  | レセプトの上書き     | カルテ問題集 No1～10について実践   |
| 2  | 初診・再診料の算定    | カルテ問題集 No1～6について実践    |
| 3  | 医学管理         | カルテ問題集 No1～6について実践    |
| 4  | 医学管理<br>在宅医療 | カルテ問題集 No7～10、4について実践 |
| 5  | 投薬           | カルテ問題集 No1～10について実践   |
| 6  | 投薬           |                       |

|    |                      |   |
|----|----------------------|---|
| 7  | 注射                   | カルテ問題集 No5～8について実践                              |
| 8  | 処置                   | カルテ問題集 No7～10、4について実践                           |
| 9  | 処置                   |   |
| 10 | 手術                   | カルテ問題集 No10～12について実践                            |
| 11 | 麻酔<br>リハビリ           | カルテ問題集 No10～13について実践<br>No10までの仕上げる             |
| 12 | 検査                   | カルテ問題集 No.11～15について実践<br>No.11を仕上げる             |
| 13 | 検査                   | カルテ問題集 No12～15<br>No13までの仕上げる                   |
| 14 | 画像診断<br>テスト          | カルテ問題集 No14～25まで仕上げる<br>前期まとめ                   |
| 15 | 在宅医療、医学管理            |   |
| 16 | 前期の復習<br>入院と外来の違い    | 復習：外来レセプト1枚作成<br>カルテ問題集 No29、30について実践           |
| 17 | 入院にかかわる<br>その他のもの    | カルテ問題集 No31、32について実践                            |
| 18 | 入院基本料                | カルテ問題集 No29、30について実践                            |
| 19 | 入院基本料等加算<br>入院時食事療養費 | カルテ問題集 No31、32について実践                            |
| 20 | 医療秘書技能検定対策           | 医療秘書技能検定3級に向けた検定対策                              |
| 21 | 医療事務検定1級対策           | カルテ問題集<br>医療事務検定1級に向けた対策                        |
| 22 | 医療事務検定1級対策           | カルテ問題集<br>医療事務検定1級に向けた対策                        |
| 23 | 医療事務検定1級対策           | カルテ問題集<br>医療事務検定1級に向けた対策                        |
| 24 | 医療事務検定1級対策           | カルテ問題集<br>医療事務検定1級に向けた対策                        |
| 25 | 診療報酬請求事務<br>能力認定試験対策 | 診療報酬請求事務能力認定試験に向けた対策 外来・入院レセプト                  |
| 26 | 調剤事務検定               | 処方箋問題集No.1～No.10                                |
| 27 | 調剤事務検定               | 処方箋問題集No.1～No.15                                |
| 28 | 調剤事務検定               | 処方箋問題集No.16～No.22                               |
| 29 | 調剤事務検定               | 処方箋問題集No.23～No.25、調剤薬局事務検定に向けた対策                |
| 30 | 1年間の総まとめ             | 後期まとめ：調剤レセプト<br>カルテ問題集（やり残した問題がないか確認）医療事務検定2級対策 |